

春の福島市火災予防運動を実施します

実施期間：令和5年3月1日(水)～令和5年3月7日(火)

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、万が一、発生した場合にも被害を最小限にとどめ、高齢者を中心とする犠牲者の発生を減少させることを目的としています。

今年は、一般家庭防火指導を実施します。

住宅用火災警報器を設置しましょう

令和4年中に発生した福島市の火災件数は70件(前年比2件減)で、火災による死者は4人です。

火災種別では、建物火災が34件でトップ、次いでその他の火災(枯草火災など)が24件、車両火災が12件の順になっています。出火原因別では、放火・放火の疑いによるものが15件、たばこが8件、次いで電気機器、排気管、たき火が各3件の順になっています。

住宅用火災警報器の設置率

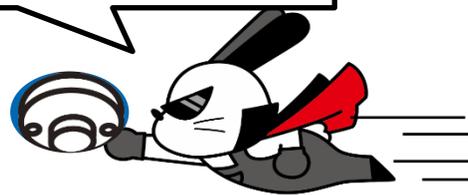
【全国】	設置率：84%	条例適合率：67.4%
【福島県】	設置率：79.2%	条例適合率：58%
	(全国35位)	(全国40位)
【福島市】	設置率：80%	条例適合率：53%

(令和4年6月1日時点)

※設置率：市町村の火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分のうち、一箇所以上設置されている世帯の全世帯に占める割合。

※条例適合率：市町村の火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分全てに設置されている世帯の全世帯に占める割合。なお、福島市の条例では寝室及び2階に寝室がある場合は階段(2階)上部に設置が義務付けられています。

警報器を取り付けよう!!



◎取り付けなければいけない場所

- ・寝室
- ・寝室が2、3階にある場合は階段の天井

○取り付けることが望ましい場所

- ・台所、居室

お近くの消防署に相談窓口を開設しておりますので、不明な点などがありましたらお気軽にご相談ください!

広報 119

編集・発行 福島消防署
福島市天神町14番25号
TEL 534-9105
FAX 535-0120
令和5年3月号

	火災	救急
福島市	4	1276
福島署管内	2	662

令和5年1月31日現在

二〇二二年度 全国統一防火標語
『お出かけは
マスク戸締り
火の用心』

コロナ・インフル同時流行 基本的対策の再徹底！！

- ① 「マスク」・・・場面に応じて正しく着用！
- ② 「手洗い・手指消毒」・・・こまめに！
- ③ 「換気」・・・常時換気、2方向の窓開け換気など！
(適度な加湿も忘れずに！ 目安湿度:50~60%)



3つの対策+ワクチン(コロナ・インフル)で同時に防ぐ！

※新型コロナウイルスとインフルエンザを防ぐ対策は同じです！
(福島市保健所のホームページから抜粋)

救急車の適正な利用のお願い

救急車は限りある医療資源です。

全国的に救急件数は増加しており、本当に必要な人に救急車が迅速に出動できないことがあります。119番通報を受けると、要請場所から一番近い救急車が出動しますが、近くの救急車が出動している場合は、遠方にある別の救急車が出動することになるため、到着に時間を要してしまい、救える命が救えなくなる場合がありますので、救急車の適正な利用をお願いします。

ただし、次のような症状がある場合は迷わず救急車を呼びましょう。

- ・言葉が出にくい。突然片方の手足に力が入らない。
- ・胸が締め付けられるように痛い。
- ・頭が割れるような痛み。経験したことがない痛み。
- ・息苦しい。息がしにくい。
- ・意識がない。けいれんを起こしている。



～有効な119番通報するための4つのポイント～

- ① 固定電話(コードレス電話機)から優先的に通報してください。
※通報電話の正確な位置情報が得られ、要請場所を特定する時間の短縮になります。
- ② 消防車や救急車が向かう住所を慌てず落ち着いて教えてください。
- ③ 通報が終わっても、消防本部からかけ直す場合があるので、消防隊や救急隊が到着するまでは他への電話は控えてください。
- ④ 通報中に煙や火などが迫り、危険を感じたら、すぐ避難してください。

消防本部ではホームページを開設しています。

消防情報・救命処置・緊急休日診療当番医など豊富な情報が盛りだくさんです。

ぜひ、アクセスしてみてください。

福島市消防本部ホームページ

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/syoubou-top/shobo/shobohonbu/index.html>

QRコード

